



林 竹二 <子供とともに育つ>

子供は非常に大きな力を持っている

人間についてのテーマで200回を超える授業を全国の小中学校で行い、昭和50年に学長退官後も各地で対話を続けている。学校の授業の中で作られる成績というのは仮の姿であり、深い学習のある授業で成績の差は消えると考えている。（1979年4月12日放送）28:41

はやし たけじ 教育学者・教育家 1906(明治39)年生まれ 栃木県出身 東北帝国大学卒業(1934) 東北大学教授をへて宮城教育大学学長(1969) ユニークな入試改革や公開授業を試みる 著作に「授業・人間について」「田中正造の生涯」など 1985(昭和60)年没

大村 はま <教えつづけた50年>

出来ることを力一杯やらせれば子どもは伸びる

昭和3年、信州の高等女学校を皮切りに教員生活を送るが、戦後の新制中学での教育に無力さを感じる。子どもたちの新聞切り抜きの「活字を見る目に」救われ、「やさしい言葉」でこそ本当に話し合えることに気づき、子どもを伸ばす教育に没頭。（1980年4月10日放送）29:38



おおむら はま 教育者 1906(明治39)年生まれ 横浜市出身 東京女子大学卒業(1928) 長野県立諏訪高女に赴任 東京府立第八高女転任 戦後東京都江東区の中学校に転任(1947) 「ベスタロッcher教育賞」受賞 日本教育連合会賞受賞 退職後「大村はま国語教室の会」主宰 2005(平成17)年没